

8月所感

小さな努力

狭山市立教育センター

所長 鈴木 浩明

小・中学校のみなさんが楽しみにしていた夏休みになりました。普段は先生方の研修会場である教育センターも、この時期はみなさん方が参加できる体験教室やチャレンジ講座が開催されています。所内には元気な声が響き、普段とは違う雰囲気になります。体験教室等を終えたその表情からは、それぞれの活動をやり遂げた満足感がうかがえます。

夏休みは、うれしいことに自由に使える時間が普段よりも多くなります。しかしその分、時間の管理が難しくなってきます。各自が目的意識を持ち、目標や計画を具体的に立て、充実した夏休みにしていきましょう。

無理な計画を立て、半分も終わらないという経験をしたことはありませんか。目標や計画を立てるときは、少し努力することで達成できるものを作成しましょう。目標を達成することの積み重ねが、一人一人の成長につながります。

アメリカのメジャーリーグで活躍しているイチロー選手は、『今、自分にできること。頑張ればできそうなこと。そういうことを積み重ねていかないと、遠くの大きな目標は近づいてこない。』と言っています。

イチロー選手は今年度、アメリカのピートローズ選手がつくった4256本のプロ野球歴代最多安打記録を更新しました。この大記録を更新することができたのは、日々の努力の積み重ねがあったからです。

小・中学生のみなさんも、夏休みの一日一日を大切に過ごし、努力を積み重ねてみてはいかがですか。一日の努力でできるようになったことは、目に見えない小さなものかもしれませんが、その目に見えない少しずつの積み重ねが、大きな目標の達成につながっていきます。

漢字も一日2個ずつ覚えるだけで、夏休みの間で80個覚えることができます。これは小学校の1年生が、新しく1年間で学習する漢字の数と同じです。英単語も1学期や前学年で学習したものを1日5個ずつ確かめていけば、この夏に200語の英単語を確実に習得することができます。

この夏休みが終わったときに、ひとつでも「この夏に私は、これができるようになった。これが身に着いた。」と自信を持って言えることがあるといいですね。そんな有意義な夏になることを、心より祈っています。